

## 令和2年度・3年度 協働提案実施事業 最終評価項目別表

事業名	障害者・高齢者の共生社会に向けて～障害分野と高齢分野の連携推進～
事業内容	障害者が高齢者の通所介護事業所（デイサービス事業所）を利用できるよう、障害者と高齢者がともに利用する共生型（通所）サービス事業所の開設を促進する。
実施団体名	一般社団法人G e n y（ジェニー）
担当課	障害者施策課、障害者生活支援課、介護保険課

	評価項目	評価の視点	評価点	評価点数
I	事業計画	① 事業は、2年間を通して課題・ニーズを把握のうえ、適切に計画・実施されたか。	A	4.67
II	協働への取り組み	② 対等な立場で、かつ互いの特性を生かしつつ、事業が進められたか。	B	4.22
		③ 事業の進捗等に応じて、必要な情報共有や議論等を行いながら対応できたか。	B	4.11
		④ 協働により実施した事業効果が得られたか。	B	4
III	事業の成果等	⑤ 事業を通じて、他の団体や組織等とのネットワークが広がったか。	B	4.11
		⑥ 想定していた事業の成果（目標）が認められたか。	B	4.11
		⑦ 事業の実施により受益者の満足度が向上したか。	B	4.22
IV	総合評価	⑧ 協働事業を実施する必要性や発展性が認められたか。	B	4.11
<b>総合評価（評価員の平均）</b>			<b>B</b>	4.19

### 【評価基準】

A	高く評価できる	5 ～4.45
B	評価できる	4.44～3.45
C	標準的である	3.44～2.45
D	どちらかといえば評価できない	2.44～1.45
E	評価できない	1.44～1

## 【総評】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、「B（評価できる）」と評価した。以下に、協議会の委員から出された意見を纏める。

第一に、制度的制約により事業がなかなか進まなかったという点について理解できると同時に、制度的問題に直面しながらも、そして新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の危機のなかでも、2年間の事業を遂行できたことは高く評価できる。その一方で、そうした制度的制約のなかでの事業展開を踏まえて、制度面と現場での運用面との関係性等についての課題提示を行ってもらいたかったという指摘があった。この指摘とあわせて、事業の振り返りとして、達成されたことを強調するだけでなく、直面した課題等を明らかにすることも重要な視点であることが、協議会のなかで確認された。

第二に、事業のアウトプットの1つとして作成されたガイドブックについて、ガイドブックとして利用するには、大きき的にもレイアウト的にも、使いづらいという指摘があった。ガイドブックであれば、利用するための手助けとなりうる、利用者の視点からの作成が今後進められることを期待したい。

第三に、事業の進め方として、複数の部署との連携について高い評価が示された。多くの事業は1つの実施団体に対して担当課は1つとなっている一方で、この事業では合計4つの組織での協働となっていることは注目に値する。とりわけ、これらの組織のあいだでの意見のやりとりが、合意形成を念頭において、丁寧に進められてきたことは、協働のあり方として素晴らしいといえる。